

**アドインマスター参照照合 TypeB プログラム
for アシストパック Pro BHT-1300
取扱説明書 第2版**



2018年 1月 10日
コンピュータ・アシスト株式会社

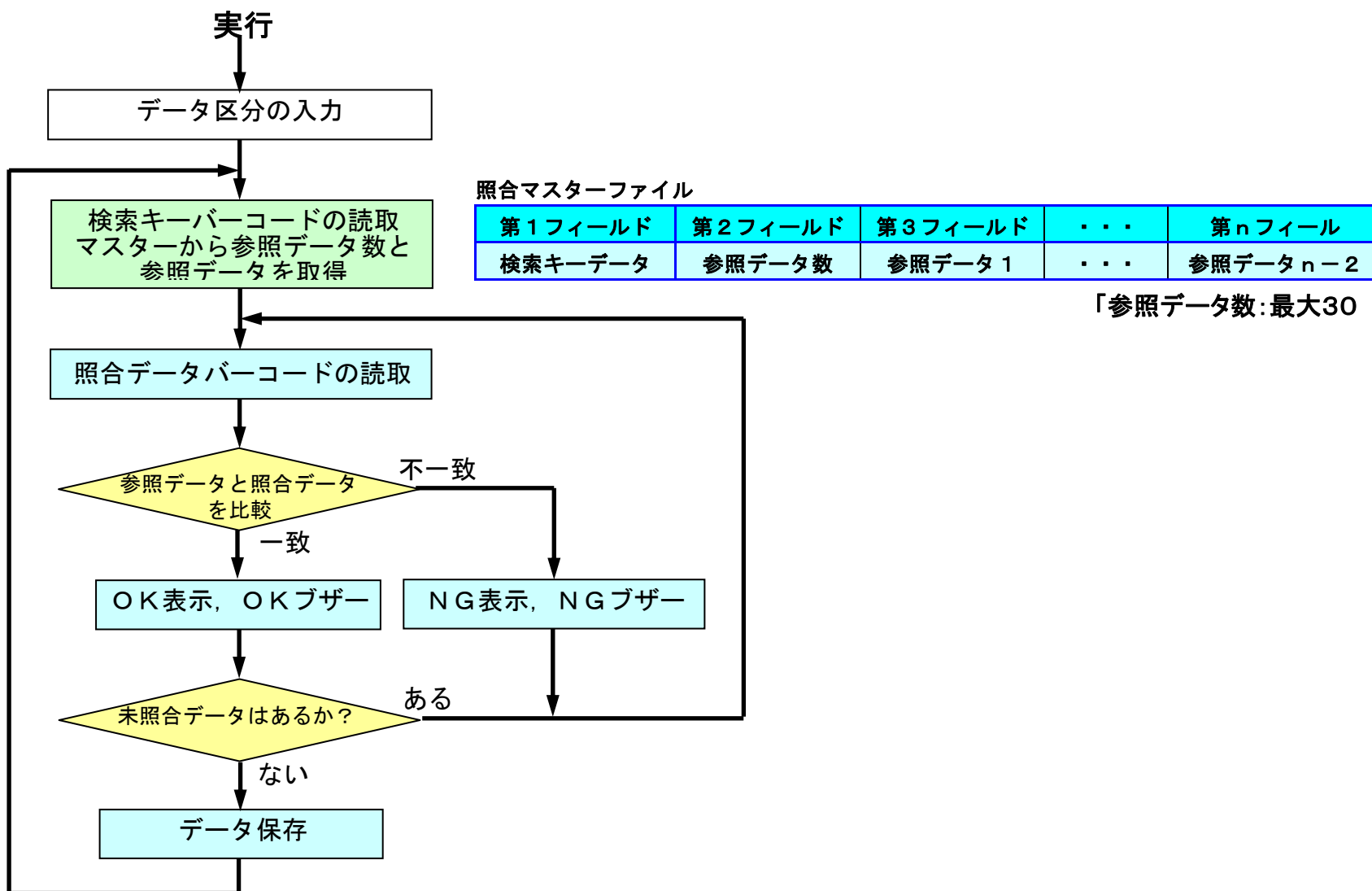


目次

1 機能概要	1
2 動作設定	2
2-1 データ区分	3
2-1-1 バーコード読取設定	4
2-1-2 マスター参照情報表示	7
2-2 照合条件	8
2-2-1 検索キー入力	9
2-2-2 照合データ入力	10
2-2-3 照合結果OK/NGブザー設定	11
2-3 データ保存	12
2-4 データ更新	14
3 業務更新	15
4 アドインプログラムダウンロード	16
5 アドインプログラム実行	18
5-1 登録順照合	19
5-2 順不同照合	20
5-3 照合マスター作成	21
5-4 照合マスター編集	22
5-5 入力/データ処理エラー表示	23
5-6 保存データ送信	24

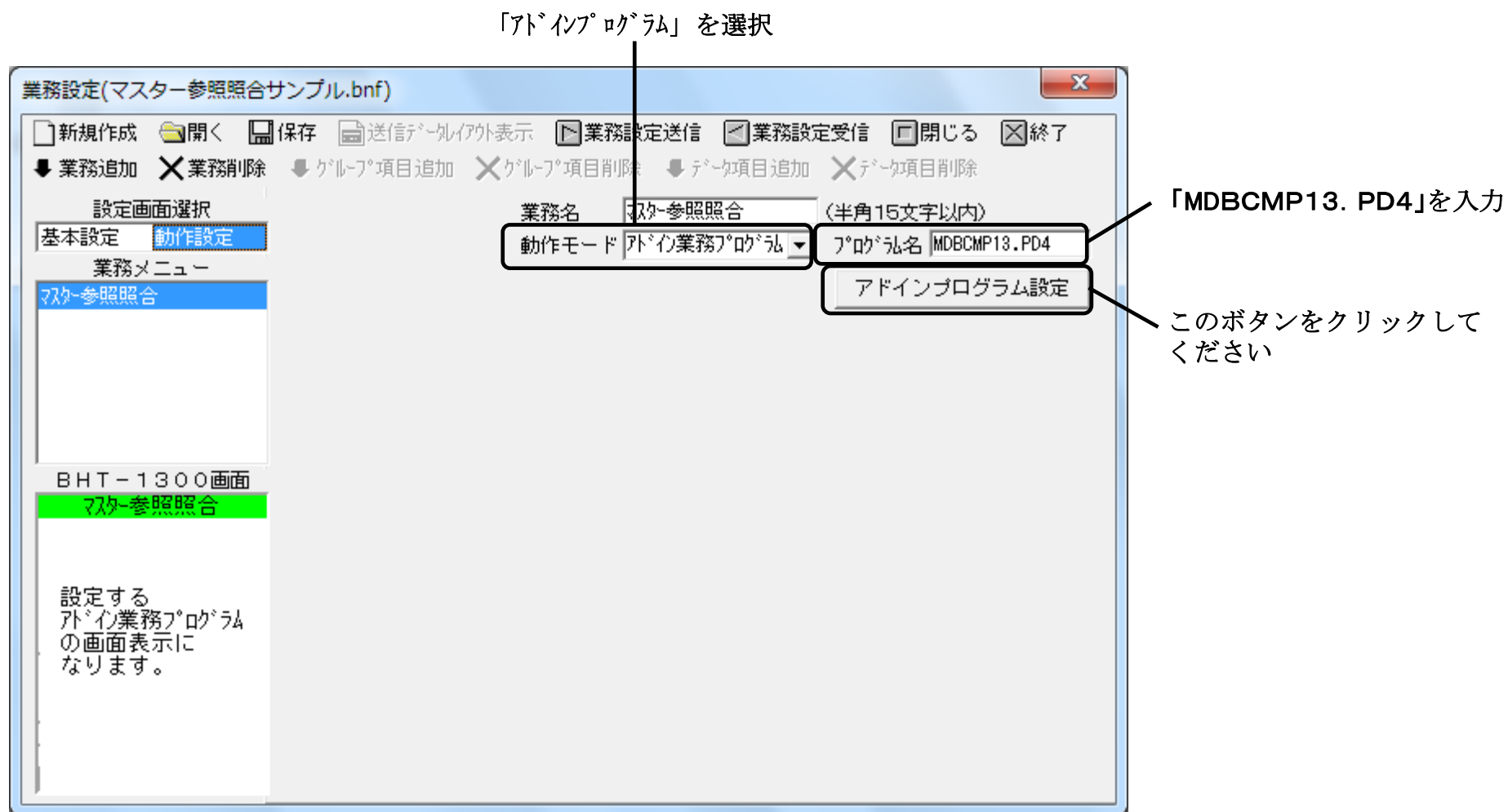
1 機能概要

検索キーバーコードを読み取り、マスターファイルから参照データ数と参照データを取得し、次に読み取った照合データと比較し、一致した場合はOK、不一致の場合はNGを表示して、設定条件に従ってデータを保存します。



2 動作設定

業務設定において、動作モードに「アドインプログラム」を選択し、プログラム名に「MDBCMP13. PD4」を設定して「アドインプログラム設定」ボタンをクリックしてください。



2-1 データ区分

担当者コードなどのデータ区分は、最大3項目設定できます。使用する場合は、「データ区分」をクリックして、「データ区分項目数」を1～3に設定してください。

ここをクリック

「データ区分項目数(0～3)」を選択してください

マスターファイルを使用して情報を表示する場合はここをチェックして「マスターファイル」を設定します。

バーコード読取をしようする場合はクリックしてください

設定項目	説明
項目名	入力項目の表示文字列を入力します。
データ形式	文字列, 数字(0 詰め表示), 数字(0 7で表示), 日付(YYYY/MM/DD), 日付(YY/MM/DD), 日付(MM/DD), 時刻(HH:MM)から選択します。
データ表示	入力データの標準表示, 横倍表示を設定します。
入力桁数	データ形式が文字列, 数字(0 詰め表示), 数字(0 7で表示)のデータ入力桁数を、最大, 最小で制限します。 入力範囲: 1～40
バーコード	「バーコード使用」をチェックして、「読取設定」ボタンをクリックすると設定画面を表示します。
マスター参照情報表示	「文字列表示マスターファイルを使用する」をチェックして、表示用マスターファイルを設定してください。 [マスターデータがない場合エラー]を設定すると、入力したデータがマスターファイルに登録されていないとエラーになります。

2-1-1 バーコード読取設定

バーコード読取設定ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

バーコード読取設定を「設定A」，「設定Aor 設定B」，「設定Aor 設定Bor 設定C」から選択してください

設定ボタンをクリック



バーコード読取設定を「設定A or 設定B or 設定C」に設定した場合、
「設定A」→「設定B」→「設定C」の順番でバーコードの読取検査をします。
バーコード種類，入力桁数，NW7 スタート/ストップキャラクタ，チェックデジット，データチェックの順番で検査して、エラーが発生すると、次の設定を検査します。
次の設定がばい場合は、読取エラーになります。

設定項目	説明
バーコード種類	JAN, GTIN, ITF, STF, NW7, Code39, Code93, Code128/GS1-128, GS1DataBar, QR, iQR, MaxiCode, PDF417, DataMatrix, Composite から読取バーコードの種類を選択します。 GTIN を設定すると、JAN, ITF, Code128/GS1-128, GS1DataBar のバーコードが読み取り可能になります。読み取ったバーコードが JAN コードの場合は、14 桁の GTIN 商品コードに変換します。標準物流コード 14 桁の場合は、2 桁目から 12 桁のデータから 14 桁の GTIN 商品コードに変換します。標準物流コード 16 桁の場合は、4 桁目から 12 桁のデータから 14 桁の GTIN 商品コードに変換します。Code128/GS1-128 または GS1DataBar の先頭 2 桁 AI (アプリケーション識別子) が、01 または 02 の場合は、14 桁の GTIN 商品コードを取得します。
読取桁数	読取桁数の最大と最小を設定します。 NW7 の場合はスタート/ストップ キャラクタを含めた桁数を設定します。 読取バーコードが最小桁数未満または最大桁数を超える場合は、読取エラーになります。
NW7 スタートキャラクタ指定	指定した NW7 スタートキャラクタと一致しない場合、読取エラーになります。
NW7 ストップ キャラクタ指定	指定した NW7 スタートキャラクタと一致しない場合、読取エラーになります。
NW7 スタート/ストップ キャラクタ削除	NW7 スタート/ストップ キャラクタを読取データから削除します。
ITF/STF/NW7/Code39 チェックデジット付	ITF/STF/NW7/Code39 のチェックデジット付バーコードを読取り、チェックデジットを検査します。
ITF/STF/NW7/Code39 チェックデジットをデータ から削除	チェックデジット(ITF/STF/NW7/Code39)をデータから削除します。
データフォーマット	データ区分の場合は固定長になります。
データチェック	「データチェックを使用する」をチェックして、検査するデータ位置とデータを設定します。検査方法は、「一致しなかったらエラー」, 「一致したらエラー」から選択します。
データ選択	NW7 スタート/ストップ キャラクタ削除, チェックデジットをデータから削除の処理をしたバーコードデータからデータ項目のデータにするデータを選択します。 「9999 桁目から 6 桁」と設定した場合は、「末尾から 6 桁」のデータを選択します。
指定文字を削除	データ選択したデータから、指定した半角文字を削除して項目データにします。



○ 読取バーコード

バーコード	備考
JAN/EAN/UPC	JAN-13, JAN-8, EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E + アドオンコード
GTIN	JAN, ITF, GS1 DataBar から取得する 14 桁の共通商品コード
書籍コード	先頭 97 の JAN-13 と先頭 19 の JAN-13 の 2 段バーコード読取 読み取ったデータは、26 桁のデータになります。 注) JAN/EAN/UPC を同時に指定しないでください。
雑誌コード	先頭 49 の JAN-13 + アドオンコード 5 桁の合計 18 桁のデータ 注) JAN/EAN/UPC を同時に指定しないでください。
ITF	チェックデジット (モジュラス 10) の設定可能
STF	チェックデジット (モジュラス 10) の設定可能
NW7	チェックデジット (モジュラス 16) の設定可能
Code 39	チェックデジット (モジュラス 43) の設定可能 数字 (0~9), 英字 (A~Z), 6 種類の記号とスペース
Code 93	数字 (0~9), 英字 (A~Z), 6 種類の記号とスペース
GS1-128/EAN-128/Code128	GS1-128, UCC/EAN-128 と Code 128 数字 (0~9), 英字 (A~Z, a~z), 記号
GS1 DataBar	リミテッド, エクスパンデッド, エクスパンデッドスタック
QRコード	マイクロQR, QRモデル1, QRモデル2 (BHT-1300Qのみ)
iQRコード	正方形 iQRコード, 長方形 iQRコード (BHT-1300Qのみ)
PDF417	マイクロPDF417, PDF417 (BHT-1300Qのみ)
Data Matrix	正方形 Data Matrix, 長方形 Data Matrix (BHT-1300Qのみ)
MaxiCode	BHT-1300Qのみ
EAN・UCC Composite	共通商品コード, EAN-128, RSSのCOMPOSITEバーコード (BHT-1300Qのみ)



2-1-2 マスター参照情報表示

マスター参照情報表示ボタンをクリックすると、次の画面を表示します。

マスターファイルの入力項目を、**未入力**にして確定ボタンをクリックすると、マスター参照情報表示機能が**OFF** になります。

設定項目	説明
マスターファイル	マスター参照情報表示に使用するファイルを設定します。 先頭に D:¥ を付加すると、microSD カードのファイルを使用します。 マスター参照情報表示を使用しない場合は空欄にしてください。
検索キーフィールド No	入力データにより検索するフィールド No を設定します。 設定範囲 1 ～ 3 0
表示データフィールド No	情報表示データのフィールド No を設定します 設定範囲 1 ～ 3 0
検索データが存在しない場合エラー	設定すると、検索データがマスターファイルに存在しない場合、エラーにします。

■ ファイル名

ファイル名は、保存ファイル名と重複しないように、下記の書式で入力してください。

<ドライブ><大文字半角英数字 1 ～ 8 文字>、<拡張子 (大文字半角英数字 1 ～ 3 文字)>

ドライブに D:¥ を指定すると、microSD カードに保存したファイルを使用します。ドライブを指定しない場合は、H T 内部メモリに保存されたファイルを使用します。

(拡張子に PD 3, PD 4, EX 3, FN 3, FLD, EXE, BAT, DLL, JPG, ZIP, TMP を使用しないでください。)

フィールド情報ファイル (. FLD) は、下記の書式で作成してください。

<フィールド 1 桁数>、<フィールド 2 桁数>、<フィールド 3 桁数>、・・・、<フィールド N 桁数>

設定フィールド桁数範囲：1 ～ 3 0

2-2 照合条件

検索キー入力、照合データ入力、照合結果を設定します。

ここをクリック

マスター参照照合 設定(BHT-1300)

データ区分
→ 照合条件
データ保存
キャンセル
更新

検索キー入力
項目名 検索キー バーコード読取設定
キー入力桁数 最大 4 最小 1 データ表示 標準
照合マスターファイル MASTER.TXT 最大照合数 10

照合データ入力
項目名 照合コード バーコード読取設定
照合順番 登録順 マスター参照情報表示

照合結果
OK表示時間 30 1/10秒 NG表示時間 30 1/10秒
OK ブザー設定 NG ブザー設定

検索キー入力に関する設定をします。

照合データ入力に関する設定をします。

照合結果の表示時間とブザー動作を設定します。

2-2-1 検索キー入力

検索キー入力	
項目名 検索キー	バーコード読取設定
キー入力桁数 最大 4 最小 1	データ表示 横倍
照合マスターファイル MASTER.TXT	最大照合数 10

1) 項目名

検索キー入力項目の表示文字列を入力します。

2) バーコード読取設定

検索キー入力項目におけるバーコード読取設定画面を開きます。

3) キー入力桁数 最大／最小

検索キーデータにおけるキー入力桁数の最大／最小（1～99）を設定します。範囲外の入力は、入力エラーになります。

4) データ表示

入力データの標準表示、横倍表示を設定します。

5) 照合マスターファイル

照合に使用するマスターファイルを設定します。

●照合ファイルのフィールド構成

第1フィールド	第2フィールド	第3フィールド	第4フィールド	・・・	第nフィールド
検索キーデータ	参照データ数	参照データ 1	参照データ 2	・・・	参照データ n-2

参照データ数は、1～30の範囲内で設定します。参照データ数の最大に合わせてフィールド構成して作成してください。
参照データ数が最大5の場合は、検索キーデータと参照データ数のフィールドを加えた合計7フィールドのマスターファイルを作成します。

□ファイル作成例

a) 参照データ数が全て5の場合

<検索キー><5><参照データ 1><参照データ 2><参照データ 3><参照データ 4><参照データ 5>

b) 参照データ数が2, 3と4がある場合

<検索キー><3><参照データ 1><参照データ 2><スペース><スペース>

<検索キー><3><参照データ 1><参照データ 2><参照データ 3><スペース>

<検索キー><4><参照データ 1><参照データ 2><参照データ 3><参照データ 4>

6) 最大照合数

照合に使用する、照合マスターファイルの参照データ数の最大を設定します。(1～30)

2-2-2 照合データ入力



- 1) 項目名
照合データ入力項目の表示文字列を入力します。
- 2) バーコード読取設定
照合データ入力項目におけるバーコード読取設定画面を開きます。
(「2-1-1 バーコード読取設定」参照)
- 3) 照合順番
照合順番が登録順（照合データ 1, 照合データ 2・・・の順番）または順不同を選択します。
- 4) マスター参照情報表示
入力した照合データの情報をマスターファイルを使用して表示します。
[マスター参照情報表示] ボタンをクリックして、マスターファイル情報を設定してください。
(「2-1-2 マスター参照情報表示」参照)

2-2-3 照合結果OK/NGブザー設定

OK表示時間 1/10秒 NG表示時間 1/10秒

OK/NGを表示する時間を、1/10秒単位で0～99の数値を設定します。
0を設定した場合は表示しません。99を設定した場合は表示し続けます。

OKブザー設定

WAVファイル

周波数 Hz 鳴動回数 回

鳴動時間 1/10秒 休止時間 1/10秒

動作デバイス

WAVファイルを設定した場合は、WAVファイルを使用します。
WAVファイルを設定しない場合は、周波数、鳴動回数、鳴動時間、休止時間を使用してブザー、バイブレータを動作させます。

設定項目	説明
WAV ファイル	下記の形式の音声ファイルを設定します。 ① ファイル形式 WAV ② オーディオ形式 PCM (リニアPCM) ③ サンプル周波数 8KHz～48KHz ④ サンプルサイズ 8bit, 16bit ⑤ チャンネル 1ch (モノラル), 2ch (ステレオ) 2chの場合、leftチャンネルを再生
周波数	0=低音 1=中音 2=高音 62～5000Hz 3～61の値は設定できません。 0, 1, 2を設定した場合、「LCDコントラスト/ブザー/バイブレータの調整画面」でブザー音量を変更することができます。 62～5000Hzを設定するとブザーの音量は最大となり、変更することができません。
鳴動回数	0～99 0を設定するとブザーは鳴りません。
鳴動時間	1～99 1/10秒単位で設定
休止時間	1～99 1/10秒単位で設定
動作デバイス	ブザー、バイブレータ、ブザー+バイブレータから選択

2-3 データ保存

照合結果を保存して送信する場合は、[照合結果を保存する] をチェックして設定してください。

ここをクリック →

マスター参照照合 設定(BHT-1300)

☒ 照合結果を保存する
 保存ファイル名 A.TXT
 保存フィールド数 11
 保存条件 照合OK

フィールドNo	保存項目	データ選択
1	Ht No	1 桁 ▲
2	データ区分 1	1 桁目から 6 桁
3	検索入力データ	1 桁目から 4 桁
4	照合データ入力パスワード 1	1 桁目から 13 桁
5	照合データ入力パスワード 2	1 桁目から 13 桁
6	照合データ入力パスワード 3	1 桁目から 13 桁
7	照合データ入力パスワード 3	1 桁目から 13 桁
8	照合データ入力パスワード 4	1 桁目から 13 桁
9	OK/NG	2 桁
10	日付(YYYY/MM/DD)	10 桁 ▼

設定項目	説明
保存ファイル	保存するファイル名を設定します。HT内のファイル名と重複しないようにしてください。 <大文字半角英数字 1～8 文字>、<拡張子(大文字半角英数字 1～3 文字)> (拡張子に PD3, PD4, EX3, FN3, FLD, EXE, BAT, DLL, JPG, TMP を使用しないでください。)
保存フィールド数	保存するデータのフィールド数を入力してください。(1～35)
保存条件	照合OK, 照合NG, 照合OK/NG から選択します。 照合OK: 照合OKになった場合にデータを保存 照合NG: 照合NGになった場合にデータを保存(エラー表示した場合はデータ保存しません) 照合OK/NG: 照合OKと照合NGの場合にデータを保存

■ 保存フィールド設定

フィールドデータとして、H t N o、データ区分（1～3）、検索キーデータ、照合データ入力バーコード、OK/NG、日付、時刻 から選択します。

フィールドデータ	説明
H t N o	H Tのサブメニューで設定したH t N o
データ区分 1～3	データ区分 1～3 を設定した場合のみ設定できます。
検索キーデータ	検索キーの入力データ
照合データ入力バーコード 1～3 0	照合データ 1～3 0において読み取ったバーコードデータ
OK/NG	“OK” or “NG” （2桁）を保存します。
日付（Y Y Y Y / M M / D D）	Y Y Y Y / M M / D D （10桁）を保存します。
日付（Y Y Y Y M M D D）	Y Y Y Y M M D D （8桁）を保存します。
時刻（H H : M M : S S）	H H : M M : S S （8桁）を保存します。
時刻（H H M M S S）	H H M M S S （6桁）を保存します。

データ区分、検索キー入力バーコード、照合データ入力バーコードの場合、保存するデータを先頭位置と桁数（保存桁数）を設定します。

2 データ区分 1 1 桁目から 16 桁

上記の場合、データ区分 1 の 1 桁目から 16 桁のデータを保存します。

「9 9 9 9 桁目から 16 桁」と設定した場合は、「末尾から 16 桁」のデータを保存します。

2-4 データ設定更新

[更新] をクリックすると設定データを更新します。設定は業務設定データに保存します。

マスター参照照合 設定(BHT-1300)

データ区分
照合条件
データ保存
キャンセル

☒ 照合結果を保存す

保存ファイル名 A.TXT 保存ファイル数 11

保存条件 照合OK

フィルターNo 保存項目 データ選択

フィルターNo	保存項目	データ選択
1	HtNo	1 桁 ▲
2	データ区分 1	1 桁目から 6 桁
3	検索キー入力分データ	1 桁目から 4 桁
4	照合データ入力パスワード 1	1 桁目から 13 桁
5	照合データ入力パスワード 2	1 桁目から 13 桁
6	照合データ入力パスワード 3	1 桁目から 13 桁
7	照合データ入力パスワード 3	1 桁目から 13 桁
8	照合データ入力パスワード 4	1 桁目から 13 桁
9	OK/NG	2 桁
10	日付 (YYYY/MM/DD)	10 桁 ▼

ここをクリック → 更新

3 業務更新

アドインマスター参照照合を設定した業務設定をBHT-1300に送信して更新します。

新規作成 開く 保存 送信データ外表示 業務設定送信 業務設定受信 閉じる 終了

業務設定送信

ここをクリックする

通信ポート COM1 460800 bps

業務設定 送信

0%

中断

サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. Bluetooth 設定
5. 業務設定受信
6. 業務設定送信
7. バーコード読取テスト
8. 全データ消去
9. ファイル受信
10. リモート受信

M1 戻る M2 実行

M2 実行

業務設定受信

通信ポート選択

1. CU-USB 460.8K
2. USB コネクタ 460.8K
3. CU-RS232 115.2K
4. Bluetooth

M1 戻る M2 選択

M2 選択

業務設定送信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-USB

通信ユニット
にセット

通信ポート COM1 460800 bps

業務設定 送信中

50%

中断

業務設定データ...

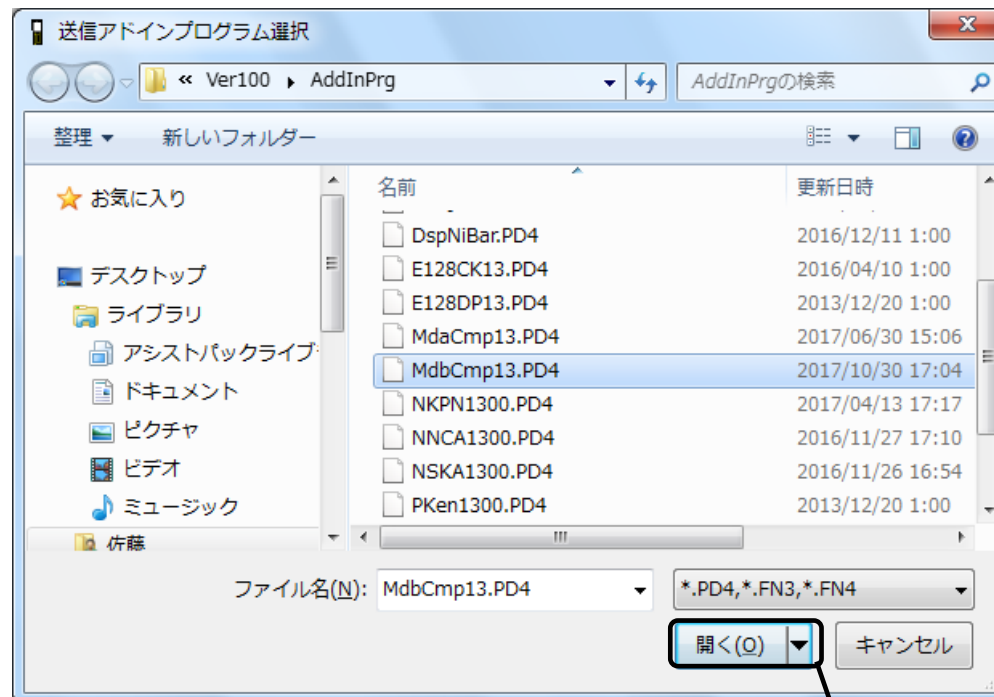
正常終了

OK

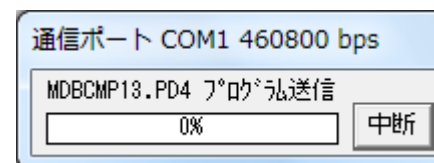


4 アドインプログラムダウンロード

アドインマスター参照照合プログラム「MDBCMP13.PD4」をBHT-1300にダウンロードします。



MdbCmp13.PD4 を
選択してクリック



サブメニュー

1. システム情報表示
2. 日付時刻設定
3. HtNo 設定
4. Bluetooth 設定
5. 業務設定受信
6. 業務設定送信
7. バーコード読取テスト
8. 全データ消去
- 9. ファイル受信**
10. リモート受信

M1 戻る **M2** 実行



ファイル受信
通信ポート選択

- 1. CU-USB 460.8K**
2. USB コネクタ 460.8K
3. CU-RS232 115.2K
4. Bluetooth

M1 戻る **M2** 選択



ファイル受信

通信ユニットに
セットしてください

M1 戻る CU-USB



通信ユニット
にセット

通信ポート COM1 460800 bps

MDBCMP13.PD4 送信中

47%

中断



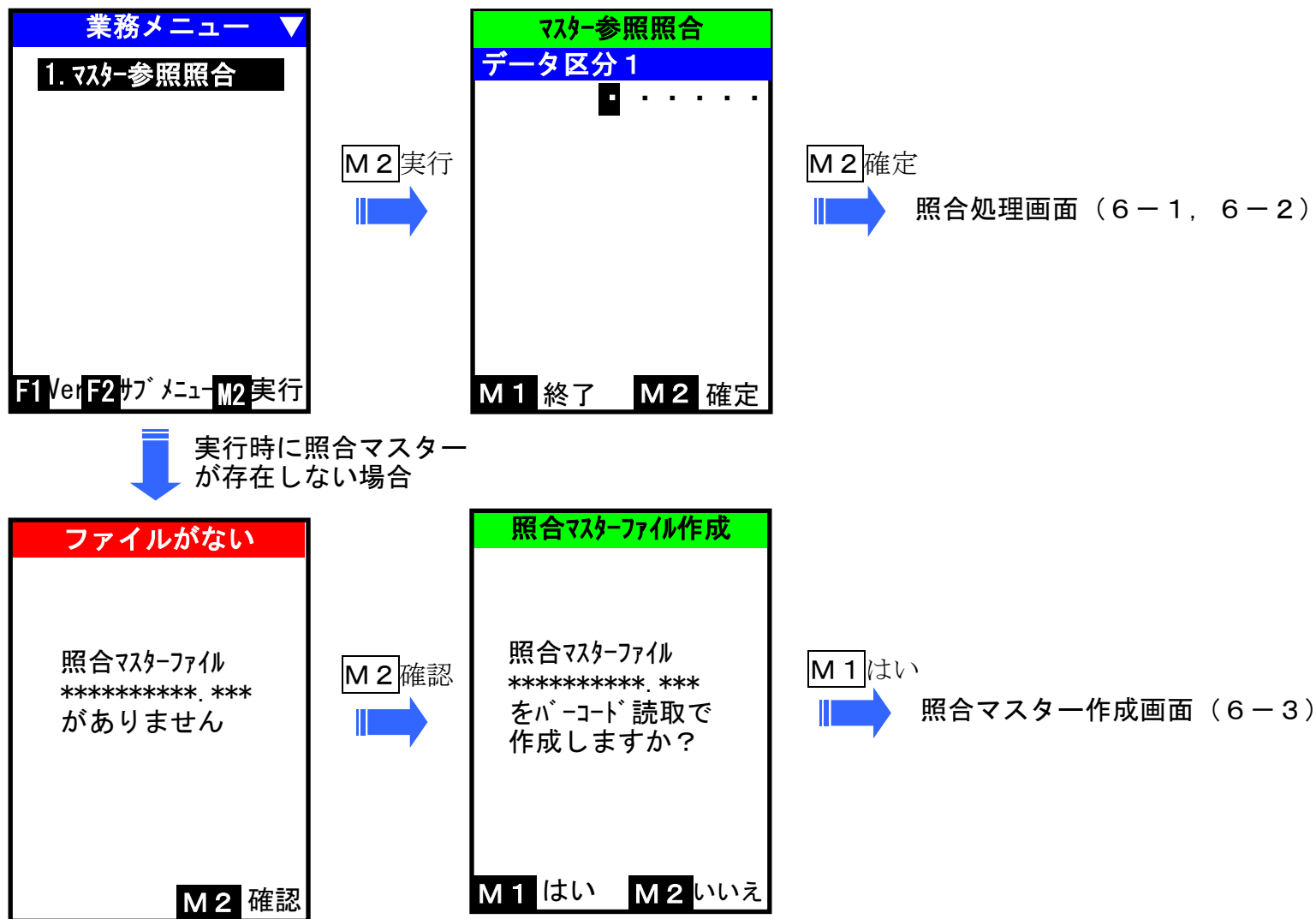
プログラム転送

正常終了

OK

5 アドインプログラム実行

アドインマスター参照照合プログラムを起動したときに、設定した照合マスターファイルが存在しない場合、照合バーコードを読み取って、照合マスターの作成が可能です。



5-1 登録順照合

照合データの登録順番にデータを表示し、これに従って照合します。

マスター参照照合	
検索キー	
■ . . .	
照合回数	10
M1 戻る	M2 確定

データ区分を設定しない場合は「終了」を表示します。

検索キー入力：
キーとバーコードの入力可能です。

照合データ入力：バーコード入力のみ。

照合回数表示：
検索キーにより参照した照合処理が終了した回数を表示します。

照合データ
取得
⇒
⇐
M1 戻る

マスター参照照合	
照合データ	
4912345678901	
マスターから取得した 照合データの情報表示 照合データと合わせて 10行まで表示します	
M1 取消	0 / 5

照合マスターから取得した
照合データを表示、

照合OK
⇒
⇐
次の照合

マスター参照照合	
照合データ	
4912345678901	
入力した照合データの マスター参照情報表示	
OK	

照合NG ↓ ↑ タイマー or キー
入力

照合OK数 / 全照合データ数

最後の
照合OK

マスター参照照合	
照合データ	
4912345678901	
入力した照合データの マスター参照情報表示	
NG	

マスター参照照合	
照合データ	
4912345678901	
入力した照合データの マスター参照情報表示	
OK	

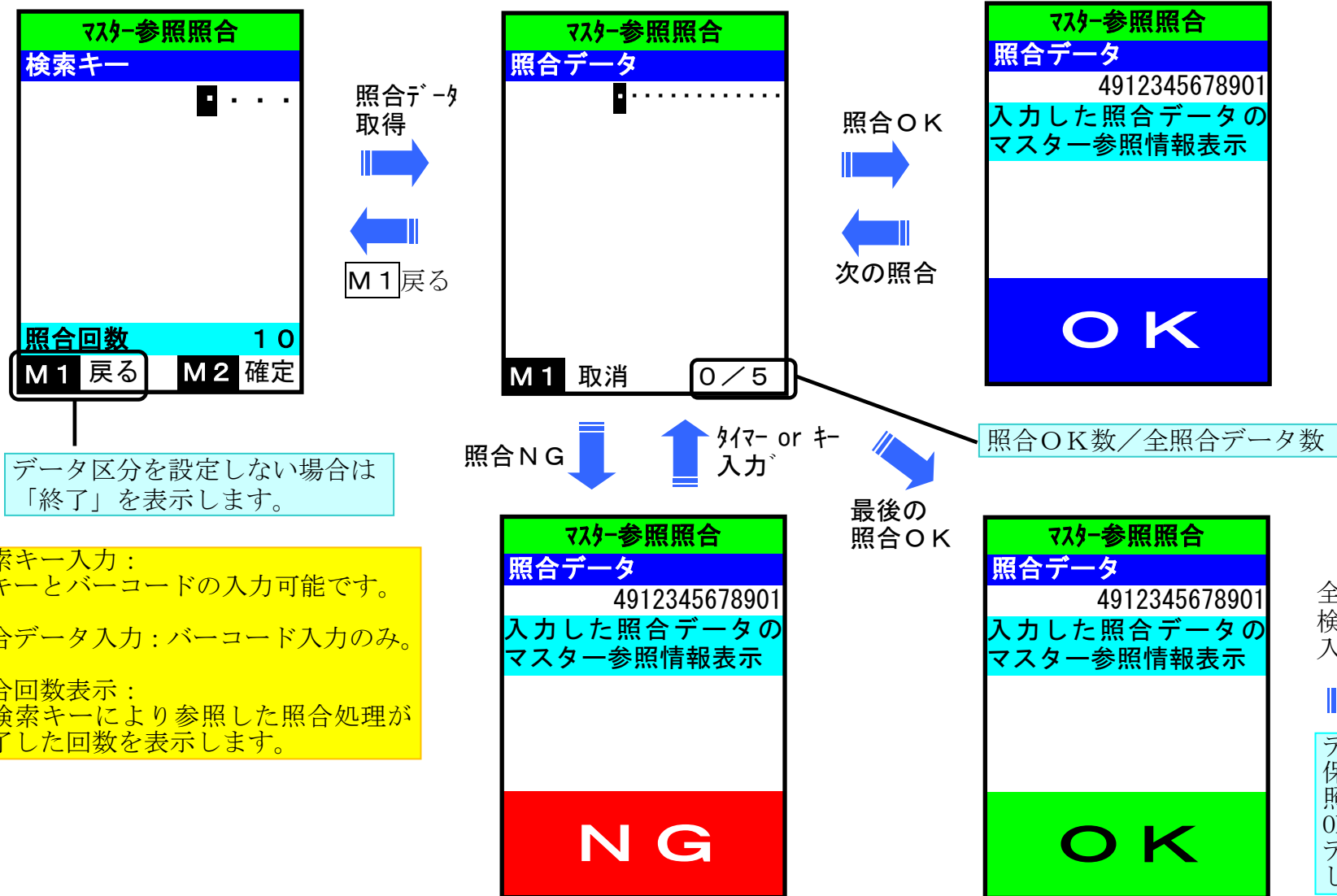
全照合を終了
検索キーの
入力画面へ



データ保存で
保存条件が
照合OK、照合
OK/NGの場合に
データを保存
します。

5-2 順不同照合

照合データの登録順番に関わらず照合します。



5-3 照合マスター作成

照合マスター作成

検索キー

.....

登録件数 10 件

M1 終了 F3 再構成 M2 確定

検索キー
入力

照合マスター作成

照合データ

.....

N / M NAX **

M1 戻る F4 削除 M2 登録

データ入力

次の入力
N=N+1

照合マスター作成

照合データ

4912345678901

入力した照合データの
マスター参照情報表示

N / M NAX **

M1 戻る M2 削除 M2 登録

照合順番／
登録照合数

最大登録数

M1 終了

照合データを
登録した場合

M2 登録

M1 はい

照合マスター作成

照合マスターの作成
を保存しますか？

M1 はい M2 いいえ

照合マスター作成

照合データを登録
しますか？

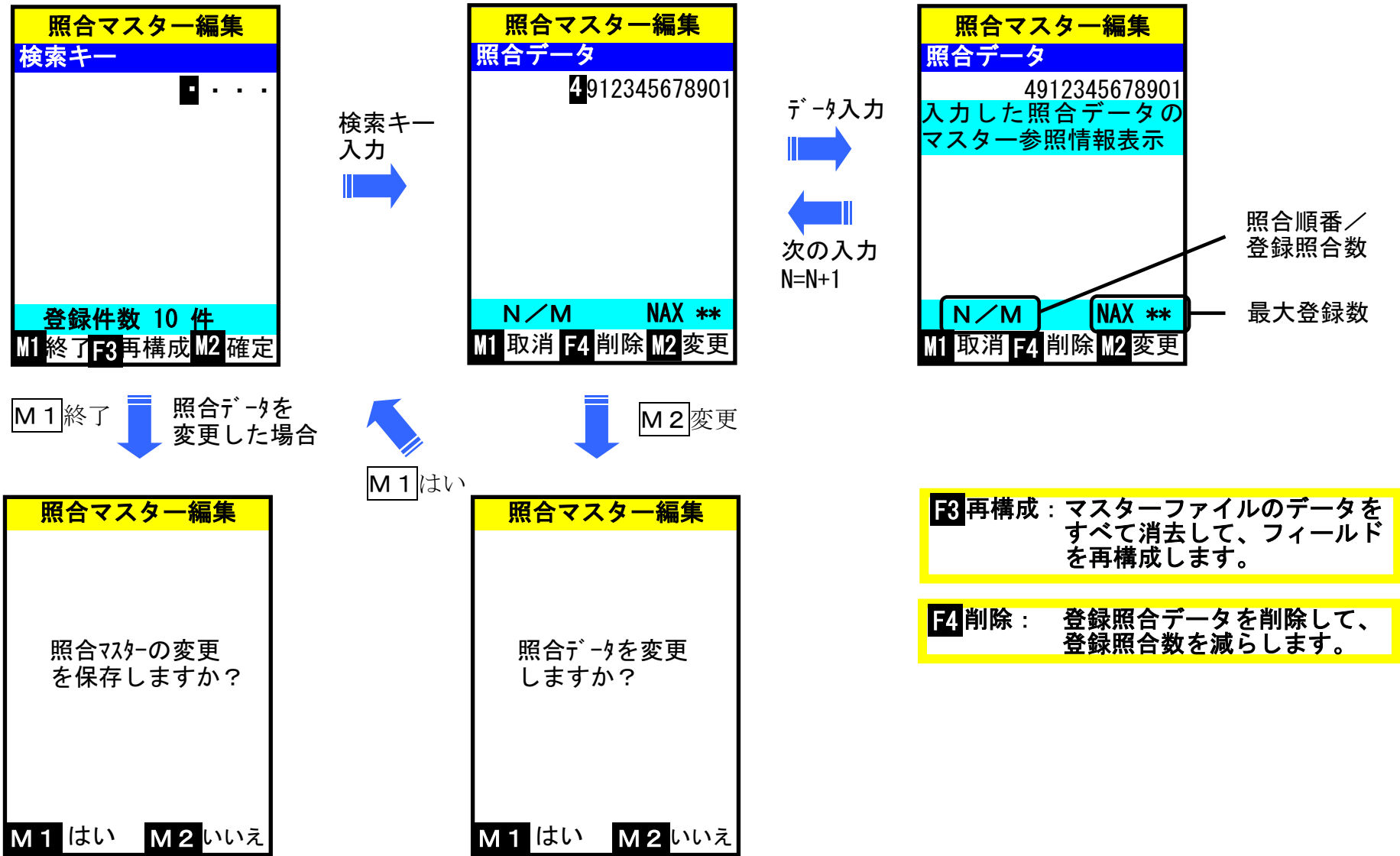
M1 はい M2 いいえ

F3再構成：マスターファイルのデータを
すべて消去して、フィールド
を再構成します。

F4削除：登録照合データを削除して、
登録照合数を減らします。

5-4 照合マスター編集

照合マスターを編集する場合は、照合処理の検索キー入力において **F3** キーを押します。



5-5 入力／データ処理エラー表示

入力またはデータ処理時にエラーが発生すると、最下位行にエラー状況を表示し、ブザーまたはバイブレータで警告します。

エラー表示	内容
未入力エラー	未入力において入力確定した
入力文字数エラー	設定した最大入力桁数を超えるか、最小入力桁数未満のデータ入力において、入力確定した
入力文字エラー	数字（0 詰め表示）と数字（0 サプレス表示）のデータ形式において、バーコードにCODE 3 9, CODE 9 3, CODE 1 2 8 など数字以外のデータを扱うバーコードを設定して、数字以外の文字を読み取った
入力値エラー	日付または時刻のデータ形式において、入力できない値を入力した (例：日付のデータ形式において、月の値に 20 を入力)
バーコード 桁数エラー	バーコード読取桁数が設定範囲外の桁数を読み取った
NW7 スタートキャラクタエラー	NW7 スタートキャラクタが設定したキャラクタと一致しない
NW7 ストップキャラクタエラー	NW7 ストップキャラクタが設定したキャラクタと一致しない
チェックデジットエラー	チェックデジット付を設定した場合、ITF, STF, NW7, Code 3 9 のバーコード読取において、チェックデジットを検査のエラー
データ検査エラー	設定したデータ検査においてエラー発生
バーコードデータエラー	フォーマットが「カンマ区切り」, 「スペース区切り」, 「タブ記号区切り」, 「CR 記号区切り」の場合、読み取ったバーコードデータに必要なデータ数がない
マスターデータがない	マスターファイルに登録データがない
検索キーデータ未登録	検索キーデータがマスターに登録されていない
照合データ数異常	照合マスターに登録された照合データ数が異常
処理エラー	上記以外のエラー

データ保存設定の場合 ト記のエラーが発生した場合にデータを保存しません。



5-6 保存データ送信

未送信のデータが保存されている業務の左に ▶ を表示します。送信したい業務を選択して **右トリガーキー**を押します。

業務メニュー ▼

▶ 1. マスター参照照合

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

右トリガーキー



マスター参照照合>送信

通信ユニットに
セットしてください

M 1 戻る CU-USB

通信ユニット
にセット



マスター参照照合>送信

送信中
00001

M 1 中断 CU-USB



送信終了

マスター参照照合>送信

送信終了

M 2 確認

確認



業務メニューに戻る

未送信の保存データがあると
業務メニューに▶を表示します。